

大月市における ふるさと教育

ふるさと教育研究会
令和5年11月21日
大月東小学校多目的室

大月市の「ふるさと教育」が目指すところ

【学校教育指針】 1 ふるさと教育の推進

人とのつながりを通して学ぶ教育活動を推進し、ふるさとに誇りと愛着をもつとともに、世界の中で多様な人々と協働できる人間性豊かな子供の育成に努める。

【学校教育指導重点】 重点方針 1 ふるさと教育の推進

②地域の歴史・伝統・文化等、地域の方々とのふれあいを通して体験的に学び、郷土を今も、そして未来も大切にする心の育成に努める。

学校教育課（教育支援室）の主な取り組み

①私の好きなところフォト展

- ・お気に入りの場所やものを写真で紹介する作品展（R5出品数：287作品）

②英語体験活動（コロナ感染症のため中止、来年度より再開予定）

- ・大月駅、富士急行線での外国人への観光案内、外国人とのふれあい

③サマースクール、楽習サロン

- ・退職教員等による学習支援（R5サマースクールのべ参加者数：1287名）

④地域研修会

- ・教職員対象の臨地研修会（R5参加者数：14名）

⑤ふるさと教育研究会

- ・ふるさと教育の充実を図るための研究会（R5会場：大月東小）

各学校での取り組み ①

<いつ学ぶか>

- ・教科、道徳、総合的な学習の時間、外国語活動（小）、特別活動

※学校におけるすべての教育活動

<どこで学ぶか>

- ・学校内で ・学校外で（現地に出向いて）

<どのように学ぶか>

- ・教員の指導 ・外部講師による指導 ・児童生徒による調べ学習

各学校での取り組み ②

<何を学ぶか>

○それぞれの学校に根付いた「ふるさと学習」

- ・五ヶ堰の学習（大月東小）
- ・笹子峠越え（初狩小）
- ・扇山森林学習（鳥沢小）
- ・校歌の歌詞についての学習（大月東中）

○SDGsの視点で「身近なふるさとの環境保全」や「人々の健康」

- ・地域の医師や薬剤師を招いての学習（大月東小）
- ・E M菌の＜プール、トイレや手洗い場の清掃＞（七保小）
- ・お弁当の日の取組＜地産地消、エコバッグ＞（猿橋小）
- ・「猿橋」の清掃活動（猿橋中）

○市内小中学校の「ふるさと教育」で取り上げたい6つの地域素材

- ・「猿橋」・「岩殿山」・「甲州街道」・「大月空襲」
 - ・「駒橋発電所・八ツ沢発電所施設」・「桃太郎伝説」
- ※別紙資料参照

6つの地域素材を取り上げるにあたって考慮したこと

- 大月市のどこに住んでいても、どこの学校に通っていても、
市民としてそれらの概要について正しく認識しておきたいもの
 - 探究的な学習や社会参画につなげることができるもの
 - 国や県から指定されている文化財や名勝、あるいはそれに準ずるもの
- ※「大月市はどんなところ？」→「自然が豊かで、・・・」

駒橋発電所、八ッ沢発電所施設 ①

○テーマ 「発電施設」の歴史や役割について学習し、
(資源の有効活用について考えよう)

○内容 ・駒橋発電所

明治40年発電開始 早稲田変電所へ送電（長距離高電圧）
首都東京に電力を供給 電気料金値下げ、使用量の増加

・八ッ沢発電所施設 <国指定重要文化財（建造物）>

駒橋発電所で使用した水→水路橋・隧道（レンガ）

→大野貯水池（調整池）→八ッ沢発電所

- ・東京電力葛野川発電所（世界最大級の揚水式発電所）
- ・東京電力東山梨変電所（山梨県最大規模、50万ボルト）
- ・節電（SDGs）

駒橋発電所、八ツ沢発電所施設 ②

○資料 「わたしたちの大月市」

小学校社会科副読本 大月教育委員会

「今に生きる100年前の発電施設」

ふるさと山梨指導資料（中学校版）

平成25年度作成補助資料 山梨県教育委員会

○講師 東京電力パワーグリッド山梨総支社

大月市郷土資料館

授業化にあたっての留意事項 ①

○テーマ、内容、資料、講師

- ・あくまでも例示、児童生徒の実態や学校の考えに基づき実践

○テーマの（ ）の部分

- ・指導者、児童生徒が設定
- ・前段のみで、（ ）は扱わないことも可能

○外部講師を活用

- ・可能な限り大月市に関係のある方（在住者、出身者）
- ・事前打合せが重要

授業化にあたっての留意事項 ②

○授業化に当たってお困りの場合は教育支援室に相談

- ・先生方と一緒に考えるスタンスで対応

○義務教育 9 年間で必ず学習

- ・ふるさと教育年間指導計画への位置づけ
- ・中学校区の小中学校で連携（小中どちらかで学習、重複して学習）

今後の取り組み、諸報告

＜本年 4 月に教育長名で各学校に配布された資料から要約＞

○今回示した **6 つのトピック**をそれぞれの学校で工夫をしていただき、
本年度の教育活動に少しずつ取り入れる

○令和 6 年度ふるさと教育年間指導計画に **6 つのトピック**を位置づける

○年度末に提出する各校の「ふるさと教育実践報告」に **6 つのトピック**に
ついて取り上げた実践を報告する（各学校の実践状況に応じて）

グループ協議のテーマ

「6つの地域素材の具体的な実践方法について」

- ・今年度および過年度の実践事例の交流
- ・来年度以降の実践のあり方